



水 土 里 ネット ちば

CHIBA

2018
平成30年

No.318 / 春号



第23回美しい農村環境写真コンテスト銀賞 「散歩中」 撮影場所：香取市小見川 撮影者：小堀 常雄

CONTENTS

口絵：桜の季節に絶対オススメ!の海匝管内の名所史跡

千葉県農林水産部長就任の挨拶	01	平成30年度 水土里ネット千葉 事務局の組織	10
平成30年 春の叙勲 受章者の紹介	02	平成30年度 水土里ネット千葉 新規採用職員紹介	11
第59回全国土地改良功労者表彰式開催		「緑の募金の森(旭市・神宮寺浜)植樹祭」へ参加	12
第61回通常総会開催	03	第21回千葉の水回廊ウォーク&	13
平成30年度 千葉県農業農村整備事業組織体制	04	疏水百選印旛沼ウォークを開催	
平成30年度 農業農村整備事業予算	06	第8回 両総用水の路ウォーク《横芝光》のご案内	14
平成29年度 水土里情報利活用促進協議会	08	土地改良施設賠償責任保険のご案内	16
理事会・通常総会開催		第41回全国土地改良大会宮城大会／訃報	17
GIS(水土里情報システム)講座の開催について	09		



今回は、春ならではの企画ということで、「桜」の季節に絶対オススメ!
の海匝管内の名所史跡2箇所を紹介します。

今年は残念ながら桜の開花が早く、すでに葉桜かと思いますが、
手入れの行き届いた史跡は四季折々の見どころで私たちを迎えて
くれますので、ぜひ訪れてみてください。

飯高檀林

1573年に僧侶の学びの場として学室を、1580年
に現在の場所に「檀林」として移設されました。

江戸時代には「徳川家康」にも庇護され発展しまし
たが、明治政府の「学制」発布で、惜しまれつつ「廃壇」となりました。



総門をくぐると、樹齢百年はくだらない杉の巨木が立ち並ぶこの
史跡は、「維新150年」を迎える現在も健在で、静謐かつ荘厳な
佇まいは、訪問者に悠久の時を感じさせてくれることでしょう。

講堂など4棟は国の重要
文化財に指定されており、
敷地全体は県の重要文化財に指定されています。

大河ドラマ「西郷どん」や朝の連続テレビ小説など、
ロケ地としておなじみで、匝瑳市観光協会の無料ガイド
さんの解説も聞けます。



大原幽学記念館



大原幽学は、二宮尊徳と並び称される江戸末期の傑出
した農政家・思想家であり、後年、現在の旭市において
先駆的な農政改革を行った人物です。

写真は、高弟である林家の住居で、太い柱を使うこと
で本数を減らし、押し入れを多く設けるなど機能性に優れ
つつ開放的な造りは、幽学がデザインしたとも伝えられ、
県指定史跡となっています。

林邸を囲むように植えられた、満開に咲き誇る桜を愛でながら記念館の敷地内を散策する
と、雅な気分を味わうことができる穴場スポットです。

農林水産部長 就任の挨拶

千葉県農林水産部長

半田 徹也



このたび、4月1日付けで農林水産部長に就任いたしました半田でございます。

日頃から、皆様には本県農林水産業の発展のため、様々な場面で御尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、県においては、昨年、千葉県総合計画「次世代への飛躍 輝け!ちば元気プラン」を実現するための具体的な取組を示す「千葉県農林水産業振興計画」(2018~2021)を策定しました。

この計画に基づき、産地の戦略的な競争力強化と高収益型農林水産業への転換の促進による「農林水産王国・千葉」の復活と、緑豊かで活力ある農山漁村づくりの推進による「農山漁村の活性化」の実現を目指してまいります。

特に、水田農業においては、県産米のブランド力の向上を図り産地の競争力を高めるため、高品質な米の生産を進めるとともに、農地中間管理事業などを活用したほ場の集積・集約化等による生産コストの低減を推進します。

また、米の需給バランスを維持し、稲作経営の安定を図るため、需要に応じた米生産と併せて、飼料用米やWCS用稲等の転作作物の取組をさらに拡大し、水田フル活用にも取り組んでまいります。

これらのほ場の集積・集約化や水田フル活用を図るとともに、収益性の高い畑作物等の導入を実現するためには、生産基盤の整備が安定的に実施されることが大変重要です。

更に、県内の農業水利施設は、老朽化が進んでおり、施設の長寿命化対策が喫緊の課題となっています。

そこで県では、安定的な農業用水の確保やほ場の大区画化・汎用化、既存の農業水利施設の計画的な補修・更新、さらに地震や豪雨等の自然災害を防ぐため、各種事業を適正かつ効率的に実施してまいります。

最後に、本県農業の発展と農業農村事業の推進に御尽力をされている皆様におかれましては、今後とも一層の御支援、御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方の御健康と御発展を祈念して就任の挨拶といたします。

おめでとうございます

平成30年 春の叙勲

平成30年4月28日に春の叙勲が発表されました。本会関係者からは瀬尾幸雄氏(元 下総土地改良区理事長)が旭日単光章を受章されました。

旭日単光章

瀬尾 幸雄氏

(元)下総土地改良区理事長



第59回全国土地改良功労者表彰式開催

水土里ネット千葉 総務部

第59回全国土地改良功労者表彰式が平成30年3月26日(月)東京都千代田区の砂防会館別館「シェンパッハ・サボー」において開催されました。

この表彰は土地改良事業の推進や土地改良区の運営に著しい功績のある団体や個人に対し贈られるものです。

このたびは、農林水産大臣表彰優良土地改良区が全国で5地区、農村振興局長表彰が3地区、金章表彰38地区、銀章表彰48地区、銅章表彰31地区、個人表彰117名が受賞されました。

また、同時に農業農村整備優良地区コンクール表彰も行われ、農業振興部門では8地区が受賞されました。

表彰式では多数の関係者を迎え、はじめに二階俊博全土連会長が挨拶、続いて齋藤健農林水産大臣が来賓を代表して挨拶され、その後表彰に移りました。

本県からは、次の団体5地区と4名の方々が長年の功績を認められ表彰の栄に浴されました。



▲二階全土連会長のあいさつ



▲祝辞を述べる齋藤農林水産大臣

県内の土地改良功労受賞者

- | | | |
|----|-----|--------------------------|
| 団体 | ●金章 | 香取市黒部川左岸土地改良区 |
| | ●銀章 | 木更津市富岡土地改良区 |
| | ●銅章 | 市原市養老土地改良区
松尾町豊岡土地改良区 |

- | | | | |
|----|------------|------|-------|
| 個人 | 東海千種土地改良区 | 理事長 | 岡本 岩雄 |
| | (元)下総土地改良区 | 理事長 | 瀬尾 幸雄 |
| | 印旛沼土地改良区 | 総務課長 | 岩本 光成 |
| | 小糸川沿岸土地改良区 | 事務局長 | 森 英樹 |
- (敬称略:役職は表彰時)



▲本県受賞者の皆さんと進藤全土連会長会議顧問

農業農村整備優良地区コンクール(農業振興部門)

農村振興局長賞

海上地区(市原市海上土地改良区)

第61回通常総会開催

～平成30年度予算22億9千万円の決議等9議案を議決～

水土里ネット千葉 総務部

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)第61回通常総会が平成30年3月6日千葉県土地改良会館において、多数の会員並びに来賓を迎え盛大に開催されました。

はじめに林和雄会長が主催者を代表して挨拶し、その後、多年にわたり本県の土地改良事業の推進に貢献された功労者10名が県土連会長表彰を受け、その功績が讃えられました。

来賓には江間敏介関東農政局地方参事官、杉野宏千葉県農林水産部次長、千葉県議会からは小高伸太千葉県議会議長、また、宮崎雅夫全土連会長会議顧問、ほか県農林水産部幹部職員を迎え、それぞれ祝辞を頂戴し前半のセレモニーを終了しました。

後半では、香北土地改良区の古林玄一理事長が議長に選任され議事に入り、予め提出された議案は第1号議案から第9号議案まですべて原案どおり承認可決されました。



▲林会長のあいさつ



▲総会全景



▲祝辞を述べる
宮崎全土連会長会議顧問

◇ 土地改良功労受賞者の皆さん ◇

- 市原市三和土地改良区 (敬称略)
理事長 三枝 正敏
- 利根土地改良区
第一理事 染谷 惣一
- (前)印旛沼土地改良区
副理事長 五十嵐 豊
- 香取市東庄町桁沼土地改良区
理事長 寺嶋 昭一
- 千葉県大利根土地改良区
理事 平山 一郎
- 両総土地改良区
理事 (故)板倉静雄
- 内谷川沿岸土地改良区
理事長 東條 藤夫
- いすみ市古沢土地改良区
副理事長 高地 恒夫
- 鴨川市来秀土地改良区
理事長 高橋 康男
- 天羽土地改良区
会計主任・主幹 大野 志津子

◇ 役員補選 ◇

今回は理事2名、監事1名の補欠選任が行われ、総会で選ばれた10名の選考委員から推薦された次の方が選任され、平成31年3月31日の任期まで就任することとなりました。

選任された役員(平成30年3月6日就任)

- 理事 長谷川 邦彦 (敬称略)
(印旛沼土地改良区理事長)
- 理事 篠塚 正勝
(香取市豊浦土地改良区理事長)
- 監事 鎌田 勝巳
(鴨川市加茂川沿岸土地改良区理事長)



▲林会長と功労者の皆さん

千葉県農業農村整備事業組織体制

(平成30年度)

農林水産部

部長 (事)	半田 徹也
流通販売担当部長 (事)	穴澤 幸男
水産局長 (技)	山崎 明人
次長 (事)	櫻井 博幸
次長 (技)	石家 健生
次長 (技)	冨塚 浩一
次長 (技)	杉野 宏

団体指導課

課長	根本 正一	
副課長(事)	伏居 丈夫	
農林検査室	主幹(兼)室長	小川 一美
水産指導検査室	主幹(兼)室長	浅野 博宣
土地改良検査室	主幹(兼)室長	星野 成司
経営支援室	主幹(兼)室長	武田 有

農地・農村振興課

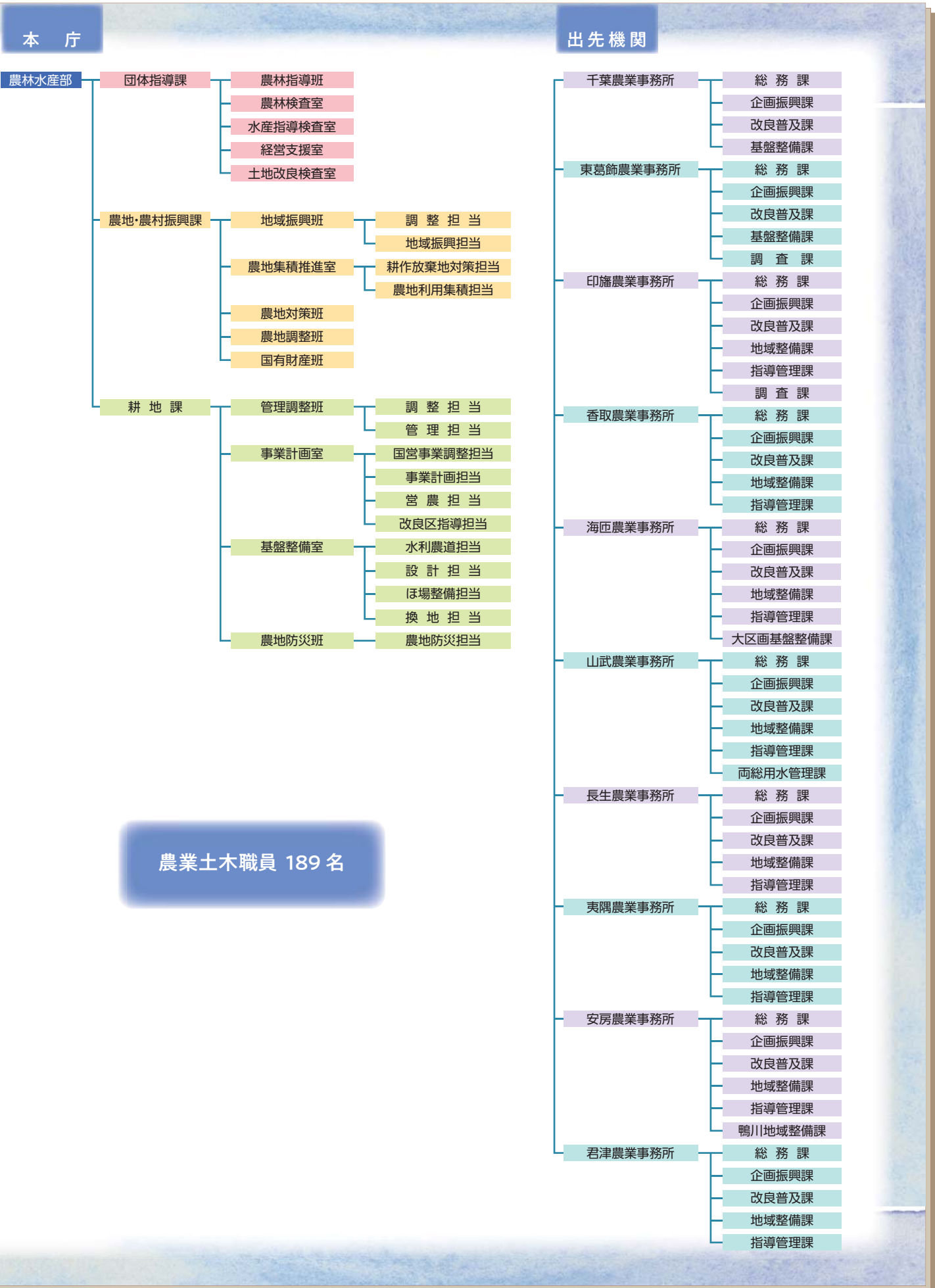
課長	須合 健己	
副参事	飯田 正信	
副課長(事)	斉藤 真	
副課長(技)	渡邊 昌夫	
農地集積推進室	副技監(兼)室長	茂木 弘一

耕地課

課長	杉森 浩	
副課長(事)	小倉 政芳	
副課長(技)	毛利 雅史	
事業計画室	主幹(兼)室長	小野 勉
基盤整備室	副技監(兼)室長	小島 光

出先機関

千葉農業事務所	所長	澤川 隆	基盤整備課長	越川 勝明
東葛飾農業事務所	所長	篠原 賢治	基盤整備課長	三森 豊
印旛農業事務所	所長	岩淵 善彦	次長	鈴木 清次
香取農業事務所	所長	川村 治朗	次長	吉井 俊勝
海匝農業事務所	所長	池尻 勉	次長	加瀬 誠
山武農業事務所	所長	石田 和也	次長	大須賀 信宏
長生農業事務所	所長	初山 和夫	次長	本宮 誠
夷隅農業事務所	所長	三嶋 啓治	次長	渡辺 正巳
安房農業事務所	所長	岩見 泰洋	次長	本忠 正一郎
君津農業事務所	所長	立崎 政男	次長	田中 完佳



農業土木職員 189 名

平成30年度

農業農村整備事業予算

千葉県農林水産部

平成30年度千葉県一般会計予算は、平成30年2月定例県議会において議決されました。
農林水産部耕地課と農地・農村振興課が所管する主な事業の予算内訳は次のとおりです。

耕地課

(単位:千円)

事業名	平成29年度	平成30年度	
	事業費	事業費	地区数
<直轄事業負担金>			
国営事業(かんがい排水事業等)	3,755,300	3,707,890	-
<農業生産基盤整備事業>			
1 かんがい排水事業	2,179,050	2,383,900	37
①かんがい排水事業(一般、基幹ストックマネジメント)	1,875,550	2,067,500	20
内訳 1.かんがい排水事業(一般)	860,100	1,296,100	8
2.基幹水利施設ストックマネジメント事業	1,015,450	771,400	12
②農業水利施設保全合理化事業	116,000	128,700	10
③地域農業水利施設ストックマネジメント事業	178,500	178,700	6
④県単用排水改良事業	9,000	9,000	1
2 畑地帯総合整備事業(担い手支援型)	509,450	80,500	2
3 畑地かんがい推進モデルほ場設置事業	28,000	15,000	2
4 経営体育成基盤整備事業	2,980,000	2,900,000	27
内訳 1.経営体育成基盤整備事業(経営体育成等のハード事業)	2,656,140	2,740,500	13
2.高度化支援事業(ソフト事業)	323,860	159,500	14
5 農地中間管理機構関連農地整備事業	-	100,000	2
小計	5,696,500	5,479,400	70
<農村整備事業>			
6 農道整備事業	363,500	882,800	10
内訳 1.広域営農団地農道整備事業	340,000	806,000	2
2.保全対策型	-	42,600	2
3.震災対策農業水利施設整備事業(農道橋梁分)	23,500	34,200	6
小計	363,500	882,800	10
<農地等保全事業>			
7 ため池等整備事業	266,000	241,000	8
内訳 1.県営ため池等整備事業	251,000	226,000	7
2.ため池等緊急整備事業(県単独)	15,000	15,000	1
8 湛水防除事業	725,000	1,148,050	6
9 地すべり対策事業(防止工事、県単独、災害関連緊急)	467,565	400,600	14
10 特定農業用管水路等特別対策事業	369,000	295,000	2
11 地盤沈下対策事業	33,000	51,000	1
12 災害復旧事業	320,000	320,000	-
13 震災対策農業水利施設整備事業(ため池分)	153,500	110,200	12
14 農業用河川工作物等緊急対策事業	156,435	18,000	1
15 防災施設ストックマネジメント事業	-	32,000	1
小計	2,490,500	2,615,850	45
農業農村整備事業費 計	8,550,500	8,978,050	125

(単位:千円)

事業名	平成29年度	平成30年度	
	事業費	事業費	地区数
<調査・管理等>			
16 土地改良基礎調査	70,000	70,000	45
17 営農改善対策調査	1,369	2,100	2
18 経営体育成促進換地等調整事業	8,320	10,400	2
19 実施計画策定事業	-	20,000	1
20 土地改良施設管理事業	1,133,322	1,089,456	9
21 基幹水利施設管理事業	1,043,797	1,004,186	4
22 土地改良施設維持管理適正化事業(緊急)	740,000	880,000	67
23 国営造成施設県管理費補助事業	30,498	32,195	1
24 国営造成施設管理体制整備促進事業	55,728	54,336	2
25 土地改良管理事業	77,786	78,225	-
26 土地改良管理事業(農業用水水質汚濁調査)	1,520	520	2
27 土地改良換地関係費	585,500	585,640	3
28 水土総合強化推進事業	10,800	12,276	-
調査費・管理費等 計	3,758,640	3,839,334	138
合 計	16,064,440	16,525,274	263

※県当初予算、事業費ベース

※地域農業水利施設ストックマネジメント事業は、県予算ベース

農地・農村振興課

(単位:千円)

事業名	平成29年度	平成30年度	
	事業費	事業費	地区数
<農業生産基盤整備事業>			
1 農業基盤整備促進事業	156,000	156,000	22
2 農地耕作条件改善事業	93,000	173,000	15
小 計	249,000	329,000	37
<農村整備事業>			
3 農業集落排水事業	106,680	101,050	11
内訳 1.ハード事業	88,480	46,850	2
2.ソフト事業	18,200	54,200	9
4 中山間地域総合整備事業	144,000	150,000	1
5 農地環境整備事業	230,000	180,000	3
小 計	480,680	431,050	15
農業農村整備事業費 計	729,680	760,050	52
<調査・管理等>			
6 多面的機能支払交付金	1,490,400	1,480,500	
内訳 1.農地維持支払	660,750	693,000	未定
2.資源向上支払(共同活動)	342,600	333,000	未定
3.資源向上支払(施設の長寿命化)	487,050	454,500	未定
調査費・管理費等 計	1,490,400	1,480,500	未定
合 計	2,220,080	2,240,500	52

※事業費は県当初予算額ベース

平成29年度

水土里情報利活用促進協議会 理事会・通常総会開催

千葉県水土里情報利活用促進協議会



▲千葉県農林水産部耕地課
杉森課長

平成30年3月14日、千葉県土地改良会館において、平成29年度水土里情報利活用促進協議会の理事会と通常総会が開催されました。

理事会では初めに、本協議会の副会長である千葉県農林水産部耕地課 杉森課長の挨拶の後、総会付議案件について審議いただきました。

午後からは、93団体の会員出席のもと通常総会が開催されました。

なお、本協議会は、水土里情報利活用促進事業を実施するにあたり、平成18年度に76団体の参加により設立され、現在の会員は県耕地課、農地・農村振興課、農業会議、全農千葉、JA中央会、農業共済組合、市町村、改良区などの118団体となっています。

総会開催にあたり、本協議会の会長である千葉県土地改良事業団体連合会 林会長の挨拶の後、武田堰土地改良区 小倉理事長が議長に選任され、1号議案から3号議案まですべて原案のとおり可決承認されました。



▲林会長

- 1号議案 平成29年度の事業報告について
- 2号議案 平成30年度水土里情報利活用計画について
- 3号議案 役員の選任について

また、その他の事項として、平成30年度より本格運用が予定されている水土里クラウドシステムのデモンストレーションがあり、システムの機能について紹介しました。

水土里情報利活用促進事業では平成30年度以降も地図情報システム(GIS)の構築及び農地情報のデータベース化を更に進めていくこととしております。システムの利活用推進を行うために引き続き関係機関からの資料提供など、ご協力をお願い致します。

GIS (水土里情報システム) 講座の 開催について

水土里ネット千葉
管理指導部水土里支援課

千葉県水土里情報利活用促進協議会では平成24年度から水土里情報システムの本運用を開始し、現在までに42団体がシステムの運用を行っております。

GIS(水土里情報システム)講座は、平成26年度から開催し、利用者に合った操作説明を実施しています。

今年度も昨年度同様、1回の講座は2団体程度で、実施期間は7月から2月の毎週水曜日9時30分から15時30分を予定しています(水曜日が祭日の場合は行いません)。

昨年度のGIS(水土里情報システム)講座では、午前中はシステムの構成や各種機能の基本操作説明を行い、午後は良く利用する複数条件での検索方法や凡例とタイトルを取り込んだ印刷方法など地図情報ならではの機能を使っての操作実習を行いました。また、各参加団体様の要望数が多かった項目毎の色塗りやラベルの作成も行い、参加者は職場での利用を考え熱心に説明を聞き、何度も繰り返し操作する場面も多く見受けられました。

なお、申し込みにあたっては、当会のホームページ(<http://www.chibadoren.or.jp/>)の「水土里情報システムGIS講座申し込み」より、申し込み用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、参加希望日の二週間前までにFAXで申し込みをお願いいたします。希望団体が多い場合は事務局で調整させていただきますので、ご了承のほどお願いいたします。

今年度もシステム利用を検討している団体も含め、多数のご参加をお待ちしております。

GIS、地図情報等、システム運用に関わらずご興味、ご質問がある方は

管理指導部水土里支援課
043-241-7745 まで
お問い合わせください。



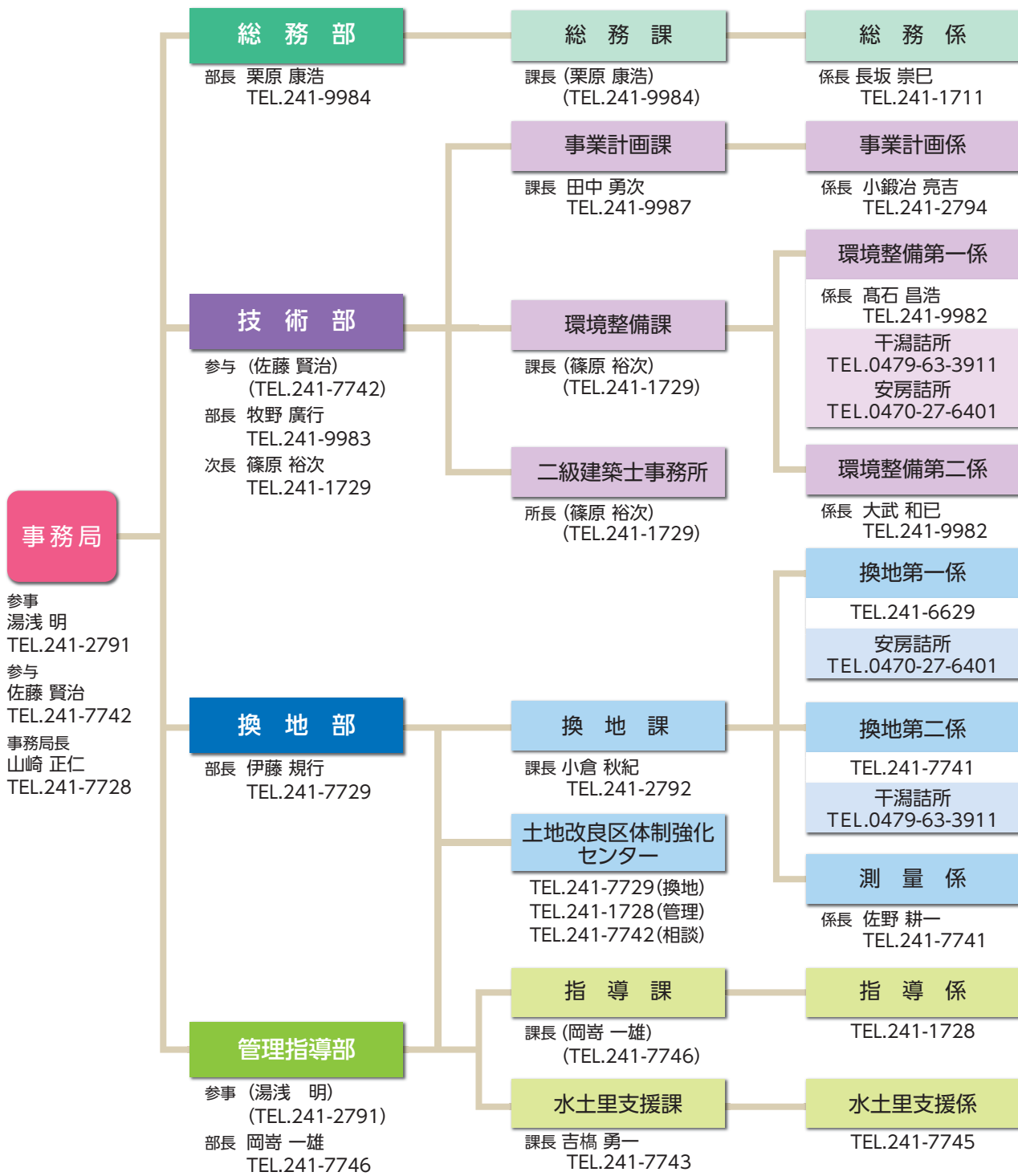
水土里ネット千葉

検索



平成30年度 水土里ネット千葉 事務局の組織

〔市外局番 043〕 平成30年4月1日現在



職員数 51名

- FAX**
- 総務部 248-2563
 - 技術部、換地部 248-2521
 - 管理指導部 248-2574
 - 安房詰所 0470-27-6470
 - 干潟詰所 0479-63-3985

平成30年度

水土里ネット千葉 新規採用職員紹介



技術部事業計画課
さくらい ひでかず
櫻井 秀和

平成30年4月1日付けで新規職員として技術部事業計画課に配属となりました櫻井秀和と申します。
私の出身地は鎌ヶ谷市で、農業とはあまり関わらずに育ってきました。しかし、大学進学の際、自身の将来を考えたとき、漠然に地域振興ができる仕事がしたいと思いました。さらに、私が田んぼや畑の景色が好きなのもあり、東京農業大学の農業土木が学べる学科に進学しました。そこで、農業土木について学ぶことで、土地改良や農業基盤整備といった土木系の仕事がしたいと思うようになりました。

そしてこの度、連合会の職員として採用していただき、地元千葉の農業の発展に貢献できるチャンスをくださったことを誠に嬉しく思います。いろいろとご迷惑をおかけすることになると思いますが、一日一日一生懸命努力していくので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



換地部換地課
たかなし りゅうま
高梨 龍馬

平成30年4月1日付けで新規職員として換地部換地課に配属となりました高梨龍馬と申します。
出身地は鴨川市の長狭地区で、自然豊かでその地形を利用した千枚田などがあり、米作りが盛んで私の実家でもお米や野菜を作っています。幼い頃から農業を手伝い、自然とともに育ったと言っても過言ではありません。高校では主に土木関係を学び土木構造物や土質、水循環などを学び、この学んだことを生かしたいと思いました。

この度、連合会の職員として、農業や自然に携われることに深く感謝申し上げます。連合会の一員として、千葉県の農業の発展と、後世に残る自然ができるよう、一生懸命仕事をしていきます。先輩方にご迷惑を多々お掛けしてしまうと思いますが、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



管理指導部水土里支援課
ごとう さき
後藤 沙希

平成30年4月1日付けで新規職員として管理指導部水土里支援課に配属となりました後藤沙希と申します。出身は習志野市で実家は非農家です。農業とは関わりの無い生活を送っておりましたが、食を通して興味を持ち、昨年度まで千葉県立農業大学校で勉強をさせていただきました。

大学校では、農場実習や農家アルバイト、友人達との寮生活等、一生忘れられない経験ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

この度、千葉県の農業に携わることができ大変嬉しく思っております。慣れない業務に戸惑うこともありますが、千葉県の農業を支える一員として一刻も早く仕事を覚えていきたいです。沢山ご迷惑をおかけすることになると思いますが、その分立派に成長できるよう努力をしていきますので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



管理指導部水土里支援課
さとう さちこ
佐藤 幸子

平成30年4月1日付けで新規職員として管理指導部水土里支援課に配属となりました佐藤幸子と申します。出身は神奈川県横浜市で、現在は茂原市に住んでいます。

こちらで勤務する前は、ソフトウェア開発やシステム運用保守の仕事に携わってきました。

平成27年12月から臨時職員、H29年4月から嘱託職員として勤務し、システム管理や、GIS関連の業務を担当しております。

今までの経験を活かし、皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張りますので今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。



管理指導部水土里支援課
やすい しんご
安井 真悟

平成30年4月1日付けで新規職員として管理指導部水土里支援課に配属となりました。
安井真悟と申します。大学生の頃は、農業とはあまり縁がありませんでしたがその経験を活かせるよう努力したいです。出身地は千葉県東金市で、実家が兼業農家でもあったこともあり幼いころから、田畑に囲まれた自然豊かな環境で今日まで育ってきました。

農家の厳しさを少しでも楽にしてやりたい気持ちと若い我々が率先して農業に携われるような環境づくりに役立てれば、夢と希望が持てる農村づくりを目指して頑張っていきたいです。

「緑の募金の森(旭市・神宮寺浜)植樹祭」へ 参加しました

水土里ネット千葉 総務部



▲作業風景

平成30年2月28日(水)旭市神宮寺の県有海岸保安林にて「第2・緑の募金の森(旭市・神宮寺浜)」の植樹祭が行われました。

この活動は、千葉県緑化推進委員会が主体となり実施しているもので、長い海岸線を有する九十九里海岸の津波や松くい虫の甚

大な被害から森林復旧が必要であり、県民(森林ボランティア)や様々な企業・団体などが、少しずつ力を集結し合い整備している活動であり、県と法人の森協定を締結した「緑の募金の森(匝瑳市・吉崎浜)」の海岸林再生活動に取り組んできました。これまで「第1・緑の募金の森」の活動は、植樹した苗木も順調に生長したことから、この3月をもって終了しました。

今回の植樹祭は、震災の記憶が薄れつつあり、人々の防災意識を高めるために、「緑の募金の森」を継続するべく「第2・緑の募金の森(旭市・神宮寺浜)」を新たに設置し、その第一歩となりました。

当日は、2月のわりには比較的暖かく、薄手のジャンパーを羽織る程度で作業ができ、本会からは鈴木副会長をはじめ計3名参加し総勢60名以上の参加がありました。

はじめに、緑化推進委員会 白石事務局長及び、北部林業事務所 武井所長のあいさつがあり、その後、植樹の実演等の説明を受け作業に入りました。

植樹は班単位で、予め割り当てられたエリアで行い、1班あたり11人程度で6班に分かれ、班毎に効率の良い手順を考えリーダーの指示のもと作業が進められました。

クロマツ、マサキ、トベラの3種類の苗を合わせて2500本植え、クロマツの苗には「コンテナ苗」*が使用され、専用の植樹器具やシャベルを使って地面に穴を掘り、一本ずつ丁寧に植樹しました。

当初の解散予定時間よりオーバーして解散となりましたが、本会では苗木が立派に育ち、大きな森になるまで見守っていきたいと考えています。



▲作業終了後の集合写真

*コンテナ苗：黒いトレー(コンテナ)で育苗される最新の苗木生産の技術。細い根が育っていることから活着が良いとされています。

第21回「千葉の水回廊ウォーク&疏水百選 印旛沼ウォーク」が開催されました

水土里ネット千葉 管理指導部

平成30年4月7日(土)に「美しい日本の歩きたくなるみち500選」及び「疏水百選」に認定されている花見川-新川-印旛沼の水回廊沿いのみちを、NPO法人「ちば歩こう会」が主催となり、千葉県、(独)水資源機構千葉用水総合事業所、水土里ネット印旛沼、印旛郡市土地改良協会、水土里ネット千葉、NPO法人美しい田園21、NPO法人ちば水土里支援パートナーの後援により開催されました。

今年は何どのコースも大和田機場がゴールとなり、10kmコースは新検見川公園を出発し、しらさぎ公園、天戸制水門、花島観音を通り花見川沿いを歩きました。

20kmコースは、JR佐倉駅から印旛沼を目指し、チューリップが満開のふるさと広場、新川沿いを歩いて「道の駅やちよ」を通り大和田排水機場へ、30kmコースは京成酒々井駅から順天堂大学さくらキャンパスを左手に見ながら印旛沼沿いを歩き、ふるさと広場で20kmコースと合流し大和田機場のゴールを目指しました。



▲10kmコース途中の桜



▲検見川公園集合写真



▲検見川公園出発前の様子



▲ふるさと広場

10kmコースは追い風でスイスイと歩くことができたのですが、20kmと30kmコースに参加の方々には向かい風が強くなり相当体力を消耗したようで、さながらパシュートのチームのように交代で風よけをしながら歩き、ゴールするのが大変だったと聞きました。今年3月のお彼岸ころに暖かい日が続きソメイヨシノはあっという間に葉桜になってしまいましたが、遅咲きの八重桜等が満開となり自然に触れながら歩くことが出来ました。

また、前日までの予報では雨が残るのでは?と心配していましたが、当日は強風こそ吹いていましたが雨は降らず、参加した皆さんは“ウォーキングマナー5ヶ条”を守り事故もなく完歩されました。

第8回

両総用水の路ウォーク

《横芝光》のご案内

水土里ネット両総

両総用水を学ぼう!!

両総用水の路を巡り、先人達の努力や思い感じながら、農業用水と都市用水の役割や歴史について学んでみませんか。

昨年の香取市に続き、今年は同じ両総管内の横芝光町で開催いたします。

開催日

平成30年6月2日(土) 雨天決行(但し、荒天時は中止)
受付時間9:30~10:00(ゴール予定時間15:00頃)
※天候により、コースが変更となる場合があります。



地元農産物の
おみやげつき

歩行内容

約13km 団体歩行

募集内容・申込み方法

参加費

300円 千葉県ウォーキング協会会員
400円 一般(小学生以下無料)
※当日受付します。

持ち物

昼食、飲み物、健康保険証、雨具、帽子、
タオル、レジャーシートなど

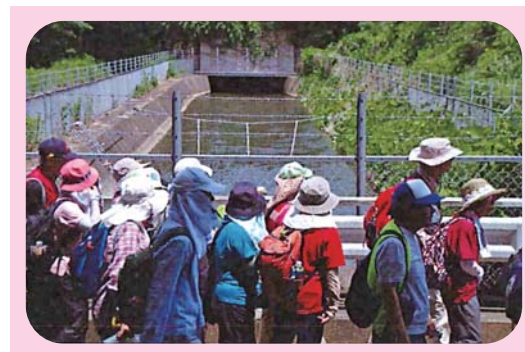
参加方法

当日、「横芝駅東側の広場」に10:00までに
集合して下さい。

(電車:JR横芝駅より徒歩2分)

横芝駅から受付会場まで誘導員を配置します。

※事前申込みは、必要ありません。



前回の様子

問合せ先

- ①NPO法人千葉県ウォーキング協会 (TEL 043-255-0141)
- ②両総土地改良区 調査管理課 (TEL 0475-52-3145)

その他

昼食会場にて汁物(数量限定)のサービスがあります。
また、ゴール後には地元農産物のお土産もあります。

注意事項

スタート・ゴール地点周辺には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
また、参加者は事前に健康診断等を受けて、万全の体調のもとに参加してください。
万一事故が発生した場合、主催者は保険による適用範囲以外の責任は負えません。



第8回 両総用水の路ウォーク《横芝光》 ～約13km歩行コース～

ウォーキングマナー5ヶ条

1. やぁ!お早う 明るい挨拶 さわやかに
2. 信号で あわてずあせらず 待つ余裕
3. ひろがるな 参加者だけの 道じやない
4. 自分のゴミ 自分の責任 もち帰り
5. 歩かせて いただく土地に 感謝して

開催日：平成30年6月2日(土)
 主催：NPO法人千葉ウォーキング協会
 共催：両総土地改良区・両総用水事業推進協議会
 後援：千葉県山武農業事務所
 協力：独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所
 横芝光町、山武農林業進行普及協議会
 NPO法人美しい田園21
 会場：横芝駅東側の広場
 受付：9時30分～10時00分 スタート：10時15分

凡例

- コース経路
- スタート・ゴール
- トイレ
- 昼食会場
- 見所



万が一に備えて加入しましょう

土地改良施設賠償責任保険のご案内

水土里ネット千葉 管理指導部

土地改良施設賠償責任保険の保険期間が、7月15日で満了となります。更新される場合は、申込期限に遅れないよう手続きをお願いします。また未加入の会員におかれましても、加入されてはいかがでしょうか。

土地改良施設賠償責任保険とは、千葉県土地改良事業団体連合会が団体保険契約者となり、ご加入いただく各会員を記名被保険者とする団体契約です。皆さまが所有・使用もしくは管理する土地改良施設の欠陥や管理ミスまたは業務遂行上のミスに起因する事故により、他人の身体に障害を与えたり、他人の財物を壊したことにより皆さまが法律上の損害賠償責任を負担される場合に被る損害に対して保険金をお支払いする保険です。

昭和60年度から導入しているこの制度ですが、平成29年度は150会員(24市町村、126土地改良区)が利用しております。

◆この保険で対象となる施設は

土地改良法上にいう、かんがい用排水施設、農業用道路、農業集落排水処理施設が対象となります。
例)道路、用排水路、溜池、揚排水機場、サイフォン、汚水処理施設等

◆支払いできる保険金

- 被害者に支払うべき法律上の損害賠償金（治療費・慰謝料・修理費等）
- 裁判費用、弁護士費用等
- 応急手当の費用等

◆保険金を支払いできない事故の例(主なもの)

- 施設の建設、改築等の工事に起因する事故
- 従業員の業務上災害
- 故意に起こした事故
- 地震・洪水等の自然現象による損害

◆保険期間

平成30年7月15日午後4時より
平成31年7月15日午後4時まで1年間

◆申込期限

平成30年6月15日(金)

※申込期限に遅れないよう手続きをしてください。

◆お問い合わせ

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)管理指導部
TEL.043(241)1728(直通) FAX.043(248)2574



第41回全国土地改良大会 宮城大会

先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に
水土里の絆 復興の歩み

第41回 全国土地改良大会 宮城大会

平成30年10月16日(火) 宮城県総合運動公園 (グランディ21)

主催：全国土地改良事業団体連合会 宮城県土地改良事業団体連合会

一日千本桜【大河原町】 仙台七夕【仙台市】 蔵子橋【大崎町鴨子温泉】 日本三景 松島・五女堂【松島町】

訃報

元衆議院議員で全国土地改良事業団体連合会 名誉会長 野中広務氏(享年92歳)におかれましては、平成29年1月26日(金)午後4時11分に逝去されましたのでお知らせいたします。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

本会 換地部換地課換地第二係主幹 大塚芳行氏(享年45歳)におかれましては、平成29年3月17日(土)に逝去されましたのでお知らせいたします。

大塚氏は、長年にわたり土地改良事業の推進に尽力され、本会でも換地部門の実務指導のリーダーとして積極的に活躍しておりました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

美しい農村環境

写真コンテスト作品募集中



平成30年

応募締切

6月11日(月) (当日消印有効)

あなたが見つけた美しい農村や農村環境、
農村におけるさまざまな活動を
写真におさめてみませんか。



第23回 千葉県知事賞



第23回 千葉県土連会長賞



第23回 千葉県農村振興技術連盟賞



誰もが住んでみたい美しい農村環境



第23回 千葉県多面的機能推進協議会賞



第23回 ちば水土里支援パートナー賞

各賞

- 千葉県知事賞 1点(賞状・副賞)
- 千葉県土連会長賞 1点(賞状・副賞)
- 特別賞 3点(賞状・副賞) ■金賞 1点(賞状・副賞)
- 銀賞 2点(賞状・副賞) ■銅賞 3点(賞状・副賞)
- 佳作 数点(賞状・副賞) ■参加賞 入選者以外の方に粗品進呈

応募締切

平成30年6月11日(月) (当日消印有効)

〔応募先〕〒261-0002 千葉市美浜区新港249-5

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)

管理指導部 TEL 043-241-1728(直通)

注意事項

- 撮影の際は農地や農業施設への無断立ち入りや農地を荒らす事の無いよう注意してください。
- 応募作品は原則として返却いたしません。返却を希望する場合(入選作品以外)は、送料相当分の切手と返信封筒を同封してください。同封が無い場合は返却することができませんので、ご了承ください。
- 複数作品を応募する際は、それぞれの作品に汚れや傷が付かないように送付してください。
- 応募作品の取り扱いについては汚れ・破損などに十分注意いたしますが、万一が一つの事故に対する責任は負いかねますので、ご了承ください。

応募規定

■千葉県に在住、在勤または在学の方なら誰でも応募できます。

■応募作品

- 千葉県内で撮影された未発表のものに限ります。
- カラープリントの単写真で1人3作品までとします。
- 写真サイズは四つ切りサイズ(四つ切りワイドでも可)及びA4サイズとします。
- 合成写真や過度の画像補正などの加工した写真は対象外とします。
- 入賞作品は1人1点とさせていただきます。ただし佳作はこれに限りません。
- 入選作品の著作権は応募者本人に帰属します。
- なお、著作権は主催者及び後援者に帰属するものとし、広報のための資料や、ポスター・チラシ・ホームページ等に無償で使用させていただきます。
- 入選作品は後日、原版(ネガ、ポジ、デジタルデータ)の提出をお願いしています。
- 入選作品以外の応募作品も展示会等において展示することがありますので、ご了承ください。(展示を希望しない場合は必ず応募票記載欄の「希望しない」を○で囲んでください。)

■その他

- 応募票(コピー可)は全て記入し応募作品の裏に貼り付けてください。

- 被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得てください。未成年の場合は親権者の承諾も必要です。(被写体の肖像権侵害等については応募者の責任とします。)
- 他のコンテスト等で入選した同一作品または類似作品の応募は出来ません。
- 要件に違反した場合は、発表後でも作品の入選を取り消す場合があります。
- 応募票に記入していただいた個人情報は、本会の個人情報保護方針に基づき適正に取扱い本コンテストの目的以外に使用することはありませんが、入選作品の発表や作品展示にあたり氏名・住所(市町村名まで)・性別・年齢を公表する場合がありますことをご了承ください。

水土里ネットちば 318号 (平成30年5月発行)



発行

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)
〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地5
TEL.043-241-1711(代) / FAX.043-248-2563(代)

印刷

株式会社ニッセイアド
〒264-0026 千葉市若葉区西都賀4-18-3
TEL.043-206-7752 / FAX.043-206-7753